三宅やすし後援会通信 風 かぜ 第８号

目　次

巻頭言、コラム……1
第162回定例議会代表質問 …2
・農政転換期への対応について
・防災対策について
・学力向上と
　地域教育振興策について
後藤野工業団地拡張問題……3
農政講演会……3
主な活動、後援会員募集……4

◆巻頭言　　三宅やすし

北上市には「北上コンピュータアカデミー」という職業訓練法人があります。これは、「職業能力開発促進法」で定められた公益法人であり、学校教育法に基づく専門学校とは少し性格が異なるものです。

北上コンピュータアカデミーは、現在の独立行政法人雇用・能力開発機構が設置し、運営を県に委託。県は北上市に委託し、同市の委託を受けた職業訓練法人北上情報処理学園が運営しています。同様の施設は全国に１１ケ所ありますが、これら全てが昨年の事業仕分けの独立行政法人の見直しにより廃止される事になりました。

北上コンピュータアカデミーは、国の存続要件である定員充足率７０％以上を維持してきており、全国一律の廃止に対して、存続要望も県と共に強く訴えたようですが、平成２２年度入学生が卒業する平成２４年３月末で廃止の方向となっています。

しかし、北上市、岩手県では国からの無償譲渡を要望し、なんとか存続させるような手続きをとっています。課題となるのは、訓練用コンピュータ等の情報機器類の年額のリース料金が４，１４０万円もあり、これをどこが負担するのかがということです。

北上市は、駅前のホテルの廃業の事もあり、これ以上の施設の閉鎖は避けなければならないと思います。

教育福祉常任委員会視察
[秋田県秋田市]

コラム　秋田市の学力向上策

秋田県は、全国学力テストで小中学生の両方で１位か２位という上位の成績を連続で収めており、秋田市にも全国の自治体からの視察が相次いでいるそうです。我々も行ってみましたが、特徴的だと感じたのは小中連携の方法です。市内の中学校区を、児童と生徒数の規模や学校数に応じて４分類し、それぞれに合わせた連携策をとっていました。小中の９年間を連続したものとして捉えた教育を行っているとの事でした。北上市でも平成２２年度から、和賀西中学校区をモデル地区して小中連携の強化に努めることになっており、成果によっては他の中学校区へも拡大していく予定です。

第１６２回北上市議会定例議会代表質問

３月定例議会では、会派による代表質問があった為、三宅やすしは
一般質問を行いませんでした。代表質問の主な内容は以下の通りです。

農政転換期への対応について

質問

①農地法改正による無秩序な農業参入が懸念されるが、監視指導体制は。

②水田利活用自給力向上対策の影響は。

答弁

①毎年、利用状況報告に基づき現地確認をし、場合によっては勧告または許可の取り消しなど、農業委員会と連携して対応していく。

②平成22年度は激変緩和措置により影響は少ないと思われる。

出初式での第９分団

防災対策について

質問

①備蓄食糧、テント、医薬品等は充分に確保されているか。

②消防団員の確保対策と、協力事業所認定制度や、入札資格要件として団員雇用による加点制度の導入は。

答弁

①乾パン等の食糧、毛布、簡易トイレ等、一通りの生活用品は備蓄している。

②就業構造の変化から苦慮している。本年２月末で６事業所に対し、２名以上入団している事業所を地域社会に貢献している職場として表示証を交付した。勤務中の出動、訓練等、活動しやすく、入団しやすい環境が地域防災体制の強化に繋がるものと期待している。加点制度は、入札制度改革の中で検討していく。

学力向上と地域教育振興策について

質問

①学習指導アドバイザーの配置は。

②学力低迷、その課題と解決策は。

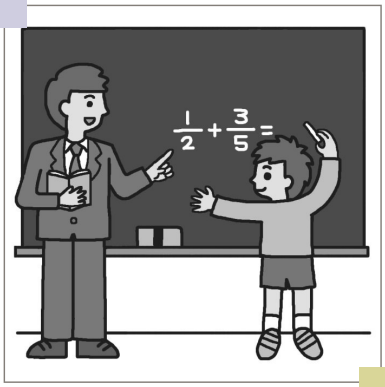
③地域人材の活用による教育力向上は。

答弁

①学力の差が広がりやすい算数、数学の指導アドバイザーの配置を検討している。

②学力向上委員会における課題として、小中学校の教員が相互の指導内容や方法を理解することが必要とあげられた。そこで、中学校区ごとに、小中学校の教員の相互授業参観や、中学校教員の出前授業などにより、共通理解をはかり解決に向け取り組む。

③地域人材の活用は、地域ぐるみで児童生徒を育てる体制につながる。歴史や文化、生活習慣を学び、地域に誇りを持てる心が育まれる場になるよう指導していく。



３月議会のトピックスと農業政策について

３月議会での話題や、農政講演会の内容を下記に紹介します。

後藤野工業団地拡張問題

後藤野工業団地
（網掛が拡張予定地）

平成２２年度の工業団地特別会計では、後藤野工業団地の拡張用地取得費として、約６億余を予算計上しています。南部工業団地も４割弱が空いている状況であり、市の財政も厳しい折に、無謀な計画ではないかと議論になりました。しかし、この拡張計画は１０年以上前に計画したものであり、当時の水田パイプライン整備事業からも除外して、用地取得を約束した地域ですし、水田としては使用できなくなっています。また、平成２７年には、岩手中部一般廃棄物処理施設の予定地ともなっており、とう本年度で用地取得をして整備していく必要があるとの事でした。起債として資金調達する事となっており、また借金が増えてしまう状況です。ただ、財政状況によっては執行を遅らせる事も検討せよという付帯意見をつけた上で、予算を可決しました。他にも、様々な問題解決の為に多大な予算措置をしなければならないケースが出てきそうです。

農政講演会［農家への所得補償制度について］

３月２７日に、平野達男衆議院議員を講師として、戸別所得補償制度についての講演会を行いました。以下、その要点です。

◎米の戸別所得補償制度について

（１）補償の必要性。

・生産費(コスト)と販売価格との比較すると恒常的に生産費の方が高い為、生産を維持していくにはその差額の補填をしなければならない。アメリカやＥＵでも、農家への所得補償を行っている。韓国でも関税率が高い割りには戸別補償をしている。

（２）１反当たり１万５千円の算出根拠

①平均的な農家の生産費（コスト）＝物財費（経営費）＋労働費（人件費）
　１４，７００円／俵(60kg)＝９，７００円（物財費）＋５，０００円（労働費）
　（これに、自己資本利子や地代を入れると、１６，１００円になる。）

②農協の買い取り価格は、１２，０００円。（Ｈ１９実績）

→更に①の中の物財は10割、労働費は8割で考えた。＝１３，７００円（＝①’）
　この価格が最低ラインと考え、①’と②の差＝１，７００円／俵。
　☆定額部分は、これを反あたり８．８表として換算し、１４，９６０円／反となる。
　☆変動部分として、買い取り価格が１２，０００円より下がった場合は、更にその差を補填する。

◎今後の流れ

・農地の流動化。　・農業の法人化。　・地域の創意工夫が大事。

三宅やすし及び後援会の主な活動

1月15日	議会全員協議会
17日	後援会通信第７号発行
20～22日	新清会研修[福島・埼玉]
25日	教育福祉常任委 研修[秋田]
27日	広報編集委員会研修[盛岡]
28日	三セク調査専門委員会
30～31日	市民劇場
2月 1日	交流センター長辞令交付式
2日	議会全員協議会
3日	後援会事務局会議
7日	第７回市政報告会(三十人町)
10日	新清会会議
14日	仲町青年部奉仕活動
2月15日	北上地区広域行政組合
18日	第161回臨時議会
〃	議会全員協議会
〃	市政調査会幹事会
19日	北上フォーラム
〃	相去青少年健全育成会
20日	市民の意見を聴く会
21日	地方自治研究集会
22日	高校教育会館評議員会
23日	三セク調査専門委員会
〃	黒北高学校保健委員会
25日	相去境塚愛護会研修
〃	黒北高PTA役員会
3月 2日	黒北高卒業式
〃	予算概要説明会
4日	3月定例議会(初日)
〃	広報編集委員会
10日	3月定例議会(代表質問)
11日	3月定例議会(一般質問)
12日	教育福祉常任委員会
15～17日	予算分科会
19日	予算特別委員会
24日	3月定例議会(最終日)
27日	農政講演会
29日	広報編集委員会
4月 2日	南地域水田推進協議会

☆☆☆三宅やすし後援会 **会員募集**のお知らせ☆☆☆

北上市議会議員三宅やすしを支持し、応援していただける方を募集しております。
後援会へのお申込みは、下記のお申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX、または郵送にてご連絡ください。また、三宅やすしオフィシャルホームページからもお申し込みできますし、必要事項をご記入の上、電子メールでも受付ております。

＊ 皆様のご意見をお待ちしております。下記までFAX、メール等でお寄せ下さい。
また、三宅やすしが 全て自身で製作、運営している下記のホームページで活動状況を詳しく報告しています。

※この後援会通信は、身体障害者授産施設
「社会福祉法人自立更生会
北上アビリティーセンター」
にて、ダイレクト印刷しています。
北上市二子町秋子沢214-7 TEL:0197-66-5400

北上市議会議員　三宅やすし後援会
〒024-0051　岩手県北上市相去町相去２８
電話:0197(67)1819　　FAX:0197(67)4227
Email　miyake12@gmail.com
URL　http://miyake.on.coocan.jp/

キリトリ

三宅やすし後援会入会申込書

ふりがな 氏名	ご住所	電話番号	性別	生年月日
	〒		男 女	年　月　日生
	〒		男 女	年　月　日生
	〒		男 女	年　月　日生